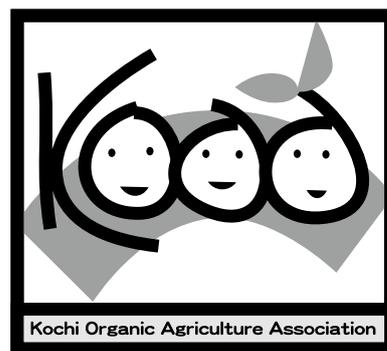


いろいろゆうぎ



2012年春・第15号

第6回通常総会報告

平成24年2月12日(日) 高知市土佐山苜蒲公民館において高知県有機農業研究会第6回通常総会が開催された。

田中理事長の挨拶に続き、高知県環境農業推進課の松村課長及び高知市農林水産課水口部長より祝辞のあと、運営会員37名中本人出席14名、委任状出席10名で総会の成立が報告された。

小田々智徳氏が議長に選任され、以下の議案を審議し、いずれも承認された。

議事

① 2011年度事業及び

収支決算承認の件

- 理事会開催 6回
- 機関紙 いろいろゆうぎ発行 4回
- 有機農産物フェア開催 3回
- 県内34市町村担当課訪問
- 有機農業推進研修会開催
- 高知市有機市民農園、管理・指導・講習会開催

収入

会費	293,	600
事業収入	489,	468
その他(繰越、寄付金、利息)	493,	127
合計	2,276,	195

支出

事業	857,	175
管理費	645,	274
合計	1,502,	449
残高	773,	746

② 2012年度事業計画及び

収支予算案承認の件

- 1 組織の強化と健全財政
 - 2 研修会や講習会の開催
 - 3 流通組織の検討と有機農産物の販売活動
 - 4 広報(機関誌いろいろゆうぎ及びホームページ)の充実
 - 5 市町村の有機農業推進に向けた取り組みの支援
 - 6 その他国や県などの事業等への協力と提言活動
- 以上の事業のため、2,530,846円の予算案が提案され原案通り承認された。

③ 役員改選の件

谷口理事、澤田理事、田島監事より辞任の意向が出され、理事に大崎裕一氏、小田々智徳氏、西森善郎氏、監事に田中基博氏が推薦され、提案通り承認された。

④ その他 なし

総会終了後、「小水力発電は原発の代替エネルギーになりうるか」と題して高知小水力利用推進協議会の溝渕卓生氏の講演があった。



高知県有機農業研究会

第7期 役員一覧

任期：平成24年2月～26年2月

理事長

田中徳武 宿毛市

副理事長

井上正雄 南国市

山本優作(事務局長) 土佐山

(次頁へつづく)

理事

*大崎裕一 土佐山
*小田々智徳 香北町
佐田義雄 宿毛市
式地寛肇 土佐町
谷川 徹 梶原町
東條美紀 南国市
永野雄一 高知市
*西森善郎 南国市
松林直行 高知市
森澤宏夫 四万十町
山下 修 土佐町
山下紘宇 高知市

監事

*田中基博 四万十市
遠山道男 四万十市

*印は新役員。以下に紹介します。

理事

大崎裕一 (おおさき ゆういち)

夢産地とさやま統括理事



平成4年から土佐山で有機の里作りに取り組んでいます。おいしい野菜を作りには土作りが大切ということで、B2土佐山モコモコ堆肥をみんなで作る、土作りをしています。仲間が増えることをねがっています。今まで取り組んできた有機農産物の流通もふくめ微力ながらお役にたてたらと思えます。よろしくお願ひします。

理事

西森善郎 (にしもり よしろう)

高知県学校給食会会長



長い教員生活の中で、食に強い関心を持ち、食を通して子どもたちをたくましく育てることに携わってきました。高知県有機農業研究会の皆さんが、有機農業を実践してこられたことに強い関心を持っております。これまで経験してきたことを生かして高有研のお役に立てればと思っております。よろしくお願ひします。

理事

小田々智徳 (おだた ともり)
(有) 大地と自然の恵み代表



沢が地球の未来がかかっているのではないのでしょうか。このような時代をみなさんと共に乗り切り、次の世代に有機農業を引き継いでいけるように日々努力していこうと思っております。

監事

田中基博 (たなかもとひろ)

農業



この度新しく監事に就任させていただきました。私もおも有機JAS農産物の生産者の一人として、本会事業発展のため、理事の皆様、会員の皆様と共に手を取り合い、心を繋ぎ合わせて進んでまいりたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

土曜日（オーガニックマーケット）

「今日までそして明日から」
「しなやかにゆったりと」

丸4年の継続力

毎週土曜日、池公園を包む穏やかな空気、そしてゆったりと流れる時間。久々に訪ねたオーガニックマーケットはいつにも変わらぬ、そんな雰囲気の中に和んでいました。

テントを張って販売する人も、どれを買おうかとのぞく人も、同じようなにこやか表情なのがこのスタイル。発足当初からの「売りながら学ぶ、買いながら学ぶ」のコミュニケーションが培われてきたからなのでしょう。



「港の土曜日」から「池公園の土曜日」へと行政に翻弄されつつも、4年間継続してこの空間を創り続けてこられたスタッフの皆さんや出店者の皆さんの頑張りたるや、生半可なものではなかっただろうと、その気苦労や実労の日々が偲ばれました。

そして3月31日の土曜日は、4周年の記念市。高知の土曜日に触発されて生まれた他県のオーガニックマーケットからも多くの協賛出店があるそうです。その出店数百近く、通常の倍の店が池公園の隅々にまで軒を連ねます。

そしてそして、4月からは何と市内を走る「ぐるりんバス」が池公園前まで乗り入れてくれることになったそうです。車で来れない人たちの為の足が出来ました。バスも引き寄せる力、「継続は力なり」とはまさにこういうことを言うんだろうと思います。



行政の思惑やメディアに乗りつつも踊らされることなく、普段着の生活市としてしっかりと根を張っていく土曜日は、まさしく畑で育つオーガニックな大根や人参の姿そのものです。今日までの丸4年の継続力は、明日への確かな創造力と発展力。ますますにぎやかになっていく池公園の土曜日。オーガニックマーケットに幸いあれと願うばかりです。

「石の上にも3年」はもうとっくに過ぎました。この春からは何と5

年目に突入する池公園の土曜日。オーガニックマーケット。幾つものマスメディア情報誌に載り、そして新聞投書でも語られ、その存在はもはや高知の空気になってきています。



情報 切り抜き

有機農業に関する情報を切り抜いてあつめました

発酵食品に

注目があつまっています

これからの時代はもはや、放射能シロ（放射能なし）かクロ（放射能なし）を選択できる時代ではなくなりまして。できるだけ内部被ばく（放射能を口に入れる）をしないための知識と共に、体に入った放射能をどう出しやすくするか、どう耐性をつけていくかを考えていかざるを得ない状況です。

玄米とまめ、ごま、わかめ、やさしい、さかな、しいたけ、いも（マゴワヤサイ）を中心に必要なミネラルを体の中に満たしておく、納豆やみそ、ぬか漬けなどの発酵食品を積極的に取ることが排出をうながすといわれています。

スーパーに並んだ発酵食品ですが、発酵食と言っても、製造過程では発酵していたけど今は発酵が止まっている

もの、原料に発酵したものを使っているもの、そもそも最初から発酵していないものなど、さまざまです。

本来の発酵食は微生物の働きにより、出来上がるまでに時間がかかるのでコストもかかります。効率よく大量生産し、品質を保持したまま安価で大量流通させるにはそんなに時間も手間もかけられません。そこで発酵することで出てくるはずの甘みや酸味やうまみを酸味料や調味料、甘味料として添加し、同じような味に仕上げています。ビールの成分には放射線防護効果があるとか。本物の漬物など発酵食品を当てにビールをグイッとやるのがその対策の一つだということは 暗い気分の中にさす一筋の光明でしょうか？

ラベルをよく見よう！



名称：こいくちしょうゆ（混合）
原材料：アミノ酸液、食塩、脱脂加工大豆、小麦、糖類（果糖ブドウ糖液糖、砂糖）、アルコール、調味料（アミノ酸等）、カラメル色素、甘味料（ステビア、甘草）、VB1

オーガニックフェスタ

2012 in 四国

東日本大震災、そして、福島第一原発事故は日本の有機農業に大きな打撃を与えました。いま日本の有機農業のあらたな展開が求められています。2月19日（日）徳島県小松島市にて生産者、消費者、流通関係者、行政関係者が一体となって有機農業の可能性について考えました。会場は四百部用意した資料が無くなる程の盛況で、講演会に先立って、おいしき品評会が行われ、生産者ごとにハウレンソウ、ハクサイ、ニンジン、トマトなどが並び、参加者による審査が行われました。

講演は、まず全国有機農業推進協議会代表、金子美登さんによる「有機農業を核としたまちづくり」次に、ジャパンバイオファーム代表、小祝政明さんによる「有機農業の可能性（地域循環と高品質・多収穫）」の基調講演がありました。

野菜の力を数値で評価

オーガニックフェスタでは、東京デリカフーズ武井安由知さんによる特別報告「野菜の中身評価」が行われました。デリカフーズグループは、仕入れ、加工、物流をワンセットにした青果卸

売を主な業務としています。野菜の中身の栄養価を正しく理解するために野菜に含まれている栄養成分を「抗酸化力」「免疫力」「解毒力」「酵素力」に分類し、数値化する研究を行ってきました。「抗酸化力」とは活性酸素を除去する力、「免疫力」とは体の異常を監視して体を守る力、「解毒力」とは体の中からいらぬものを出す力、「酵素力」とはすべての細胞の代謝に係る力です。

活性酸素は体を細菌やウイルスから守るために重要な働きをします。私たちが吸う酸素の約2%は活性酸素になるといいますが、近年の研究では老化や様々な疾病の原因でもあることがわかってきました。健康で長生きするには、体の中で発生した活性酸素を消去する抗酸化力が必要で、太陽の恵みを受けて育つ野菜と果物には抗酸化力が強く中でもベリー類、イチゴがトップです。

東京デリカフーズでは、長年にわたって行ってきた「野菜の中身評価（栄養成分の数値化）」の実績をもとに、鮮度、糖度、おいしさ、ビタミンC、硝酸イオンなどの各項目について10点満点で採点する独自基準を確立しました。野菜は生まれ育った地域の気候で最も育ちやすく、本来の力を発揮しま

生活協同組合  コープ自然派

コープ自然派こうち・えひめ・オリーブ・徳島は4月1日に合併し、「コープ自然派しこく」になりました。
脱原発・自然エネルギーへの転換・生物多様性を育む有機農業の拡大を統一した力でさらに強化します。
各県のカラーを生かし、刺激を受けあい、地域に活動の輪を広げていきたいと思っています。

コープ自然派しこく・こうちセンター
088-804-6705
自然派HP <http://www.shizenha.ne.jp/>



3.11 丸の内緑地



◇
◇
◇
す。また、旬に育った野菜はそうでない野菜と比べて栄養価が大変優れていることが解りました。栽培時期や栽培方法によっても中身の成分値は大きく異なります。オーガニックフェスタに先立って実行委員会が四国の有機農業者に東京デリカフーズでの野菜の評価を呼びかけました。その結果、抗酸化力、糖度、ビタミンCの含有において殆どの野菜が高い数値を示し、硝酸イオンが極めて少ない野菜であることがわかりました。そしてこれらの野菜の多くが小祝さんの指導による農法の実践によるもので、確実に成果を上げていることが明らかになりました。
(コープ自然派機関誌『ダブル』より抜粋)

なくそう原発

3.11高知集会&パレード
県民連絡会設立総会開催

3.11あの日から一周年の日曜日、丸の内緑地で開催された「原発なくそう高知集会」には、多くの賛同団体・個人の呼びかけにより、千百人が集まりました、まれに見る規模の県民集会となりました。主催した「原発をなくし、自然エネルギーを推進する高知県民連絡会」は、この日の時点では準備会でしたが、いよいよ「原発をなくす高知県民連絡会」結成総会が開催されます。
日時：4月14日(土) 14時～16時
場所：高知市青年センター
アスパル高知4階(高知市棧橋1丁目)
内容：趣旨・活動方針提起
伊方原発差し止め請求訴訟弁護団長 薦田伸夫弁護士講演

「(有)高生連」です。

高生連は、高知の人と自然がはぐくんだ安心な農産物を
県外の生協やお店へ送り出す中継ステーションです。
作り手の想いも伝える中継所です。

高知市 若松町 10-46
TEL: 088-880-0701

***高知県からのお知らせ**
環境保全型農業

直接支援対策について

農水省では、平成23年度から、有機農業の取組など地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動に取り組む農業者に対して、交付金を交付する事業を開始しました。交付単価は10a当たり国が4千円、県が2千円、市町村が2千円の合計8千円で、有機JAS認定の有無に関係なく有機農業を実践していることが確認できたほ場の面積に応じて交付されます。

県内では平成23年度に、有機農業者176戸に対し79ha分の6,324千円の交付金が支払われました。これは、本県の全交付実績の9割以上を占めており、この事業は有機農業者を中心に活用されています。

県では、一層の普及拡大を見込んで、平成24年度は有機農業の123ha分を含む合計309ha分を予算化しました。ただし、この制度は、国と県及び市町村で一体的に取り組む必要があります。

申し込み、お問い合わせは最寄りの市町村の農業担当課へお願いします。

県庁環境農業推進課

(0888・821・4545)

コープ吉田店 誕生祭
有機農産物フェア

来る5月25日9時～3時まで高知市吉田町、コープ吉田店で有機農産物フェアを開催します。こうち生協吉田店の誕生祭の一環で、生協の組合員さんのみならず、多くの市民の皆さんに有機野菜のおいしさを味わっていただくよい機会です。奮ってご参加下さい。詳細については左記にお問い合わせ下さい。

田中徳武 090-8970-2577
山本優作 090-1008-4717
山下紘宇 090-4975-9475

会費納入のお願い

当会の事業は、会員の皆様にご協力いただいております。今年度の会費をお振込いただけますようお願いいたします。

郵便振替 01640-6-56351
加入者 特定非営利活動法人
高知県有機農業研究会

個人 年会費	運営会員	5000円
	賛助会員	3000円
	購読会員	1000円
団体 年会費	運営会員	10000円
	賛助会員	5000円

特定非営利活動法人 高知県有機農業研究会
広報紙

いろいろゆうき 第15号
2012年4月6日発行

〒781-3214 高知市土佐山菖蒲651
事務局長 山本優作
090-1008-4717

当紙に関するご質問、会費の納入等に関するお問い合わせ、また、入会をご希望の方をご紹介いただける場合、上記までご連絡くださるようお願いいたします。

記

有機のがつこう・土佐自然塾の第7期生10名が研修を始めました。全員県外から、しかも福島、東京、神奈川、埼玉と関東出身者が多いのです。放射能汚染と無関係ではありません。高知に疎開して

後

きている家族の集まり、「虹色くじら」のメンバーも動き始めました。彼女たちの主催したチェルノブイリ事故以降、子どもたちに多発している病気のドキュメンタリー映画「チェルノブイリハート」の上映会および木下黄太さんの講演会は200人の会場がいっぱいになりました。

編

いよいよ春本番、高知平野では田植えもはじまり、忙しい時期になりました。播かぬ種は生えぬ。いろいろなどころでいろいろな種をまきましょう。(東條)

ハートアンドハートは地域に密着した健康情報発信店舗として運営しています。無農薬野菜・米や自然食品、丹羽先生(土佐清水病院院長)が開発したニワメイツ商品をはじめ健康に関する本なども取り扱っています。

Heart & Heart Co., Ltd.
ハートアンドハート株式会社

〒780-0822 高知市はりまや町 3-41
Tel.088-823-8441 Fax.088-823-8180
店舗：営業時間 /10:00~18:00 定休 日/ 日・祝